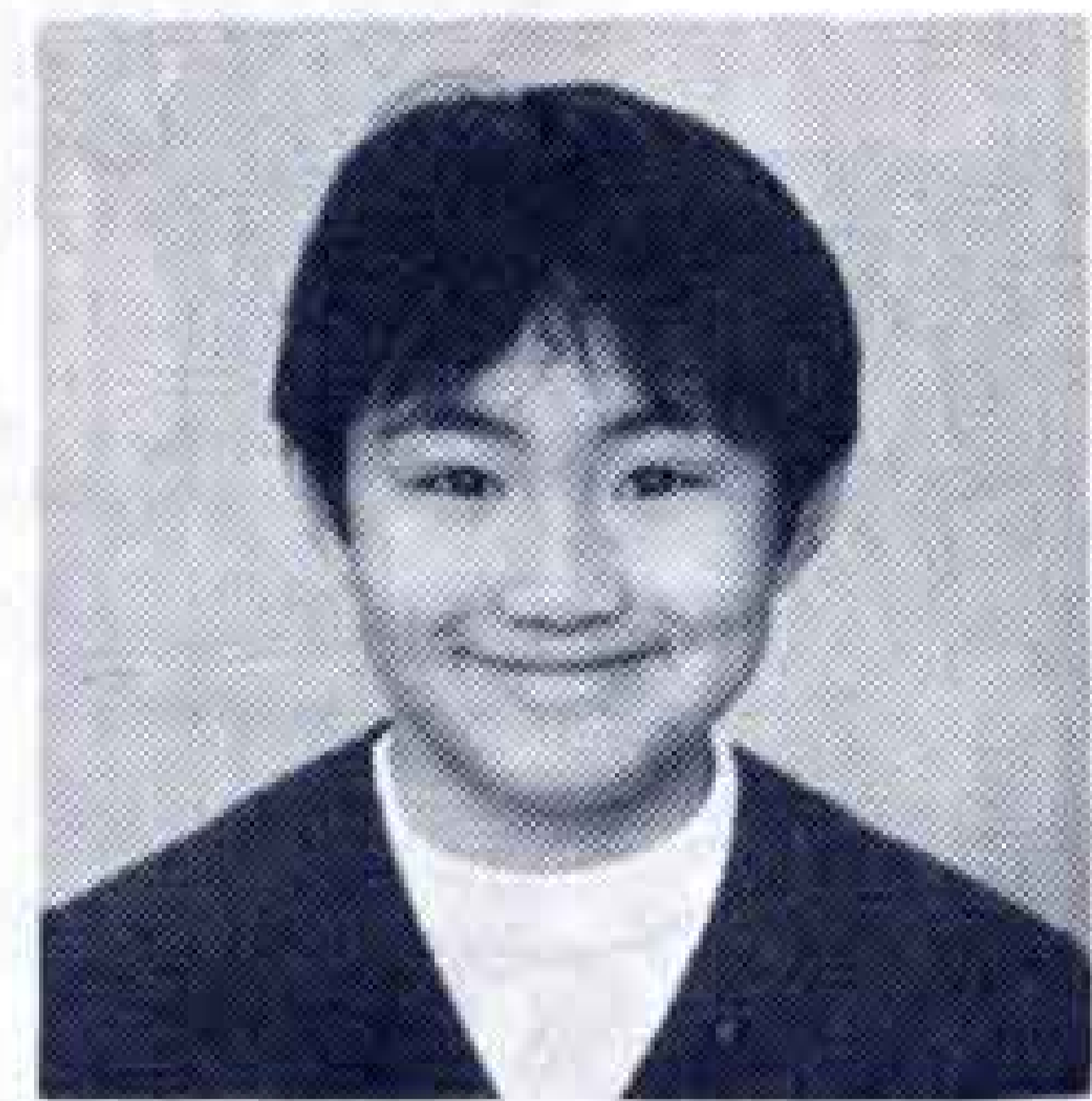


# ぼくの夢 わたしの夢



東小六年  
木村哲也君

ぼくは、考古学者になりたいです。なぜかという、この地球に、昔からまだわかっていないことがあるので、おもしろいと思ったし、ぼくは社会科がすきで歴史には興味があるからです。考古学者になったら、きょうりゅうの骨などの化石や、大昔の人が使った土器などの道具などを発掘して、いろいろなことを調べ、有名な学者になりたいです。



東小六年  
鈴木慶子さん

わたしは、しょう来、保母さんか、学校教師になりたいと思います。わたしは、子供が好きだし、めんどろを見るのが好きだからです。それに、いつも、先生たちを見ていて「自分もなりたいな」とか「楽しそうだな」と思うからです。もしも、先生になれたら、子供たちにとって、思い出を残せる先生になりたいと思います。



## 地方公設卸売市場

### 38万人の消費者へ新鮮なものを

県下で初めての公設地方卸売市場。岳南地域を中心に38万人の消費者に新鮮な青果と水産物を供給しています。

営業開始から年々取扱高が伸び、いまでは、1日平均青果が76トンの水産物が12トンの大きな市場に成長しました。

この市場の特徴は、ワンストップショッピングといって、青果・水産物以外に附属店舗で肉・パン・惣菜・お茶など、スーパー化した小売店の需用に一カ所でこたえられることで

市の仕事がどのような内容で、どう動いているかをわたしたち市民ができるだけ理解する——これは重要なことです。

そういったことで、市は公共施設見学を行っています。日常の仕事でなかなか参加する機会がないあなたに“紙上施設見学”を今回から毎月1回企画してみました。

このシステムで消費者には、より早く新鮮なものが供給できるようになりました。

### 人気はマイナス35℃の冷蔵庫

市場見学のメインは、何といってもセリ売り風景ですが、子どもたちが一番喜ぶのは、マイナス35℃の冷蔵庫に入ったときです。南極とほぼ同じ温度を体験してくると「ワー冷たい」といって大きわぎです。

#### あらし

- ・営業開始 昭和51年 9月27日
- ・建設費 34億円
- ・面積 6万6,000平方メートル
- ・買受人 582人
- ・買出人 183人



宮下410  
渡辺栄子さん

### 表紙のことば

家族で土と親しみながら、菜園づくりはいかが——と市は、荒廃農地を利用したレクリエーション農園を市内伝法・吉永・田子浦の4カ所に開園。

1区画6坪の菜園には、春菊・ネギ・レタスなどが栽培されています。

日曜日には、家族で菜園づくりを楽しんでいるという渡辺さん夫婦は、「これからは、ナスやトマトをつくろうと思います。土の感触はとていいですね」と話していました。農園の利用料は、年間2,000円です。